

(1)事業の概要等

事業番号	B1302-1
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	外国人児童生徒教育推進事業				担当部	教育委員会事務局					
	事業期間	平成6年度	～	令和6年度以降		担当課	学校教育課					
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	13	展開方向	2	担当係	学校教育係				
	予算区分	一般会計	款	10	項	1	目	3	大	5	中	2
	根拠法令・個別計画	-				事業種別	一般事業					
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	外国人児童生徒の日本語教育の充実を図る。 外国人児童生徒が円滑に就学し、学習に参加できるようにする。 外国人児童生徒が生活自立・社会自立・商業自立できるようにする。										
	対象 (何・誰を対象に)	外国人児童生徒										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>●令和3年度の実施内容</p> <p>市内小中学校に在籍する日本語教育が必要な児童生徒への指導を行う。</p> <p>○語学相談員による巡回指導(予算:賃金28,200千円)</p> <p>語学相談員が学校を巡回し、日本語教育が必要な児童生徒の学習支援、進路相談や保護者懇談時の通訳、家庭への連絡事項の翻訳等を行う。</p> <p>○日本語初期教室(にじっこ教室)(予算:賃金23,274千円)</p> <p>来日直後や外国人学校からの編入学等で、日本語がほとんどわからない児童生徒に対して、約3ヶ月間、集中的に日本語や日本の学校生活におけるルール等を指導し、日本の学校への就学を円滑に支援する教室。</p> <p>・設置場所:日本語初期教室本室(大城小学校内) 日本語初期教室分室(適応指導教室カルミア内)</p> <p>○外国人児童生徒教育推進委託(委託料189千円)</p> <p>外国人児童生徒教育連絡協議会へ外国人児童生徒のための指導研修、交流会開催等を委託する。協議会は、研修部・進路部等の部会を市内教員で構成し、指導に関する情報交換や教材開発の打合せ、翻訳文書等の集約を行う。</p> <p>○日本語指導が必要な子どもの学習支援協働事業委託(委託料3,282千円)</p> <p>令和元年度実施協働提案事業において採択された「特定非営利法人にわたりの会」が実施する日本語教育が必要な児童生徒への学校外での指導に係る経費の一部を委託するもの。</p> <p>○その他の事業 1,198千円</p> <p>・消耗品費(771千円)、通信運搬費(104千円)、事務機器借上(323千円)</p> <p>●令和4年度予定</p> <p>○語学相談員による巡回指導(賃金29,901千円)</p> <p>○日本語初期教室(にじっこ教室)(賃金23,315千円)</p> <p>○外国人児童生徒教育推進委託(委託料217千円)</p> <p>○日本語指導が必要な子どもの学習支援協働事業委託(委託料4,040千円)</p> <p>○その他の事業 1,820千円</p> <p>・消耗品費(1,145千円)、通信運搬費(149千円)、事務機器借上等(373千円)備品購入費(153千円)</p>										
受益者負担	無											

(2)事業費

事業費	項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4
			直接経費	財源	千円	1,476	1,610
	一般財源	千円	1,476	1,610	3,162	1,482	
	国・県支出金	千円	0	0	1,425	3,203	
	その他	千円	0	0	0	0	
	計(A)	千円	1,476	1,610	4,587	4,685	
	対前年比	%	—	9	184	2	
	予算額	千円	1,520	1,774	5,865	5,896	6,077
人件費	正規職員	人	0	0	0	0.0	
	正規職員(平均賃金)	千円	0	0	0	0	
	その他職員	人	24	25	25	25	
	その他職員(時給×時間)	千円	54,919	54,048	51,330	51,474	
	計(B)	千円	54,919	54,048	51,330	51,474	
	事業費合計(C=A+B)	千円	56,395	55,658	55,917	56,159	

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		13		展開方向		2	
指標名		単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4	
1	語学相談員ひとりあたりの児童生徒数	人	↘	50.7	48.5	49.3	47.5		
2									
3									

指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4	
指標	成果指標	日本語初期教室入室者数	人	目標					
				実績	49	46	20	6	
	活動指標	日本語指導を必要とする児童生徒数	人	目標					
				実績	964	1,004	984	954	
単事業あたり	受益者数(a)		人	964	1,004	984	954		
	受益者あたり事業費(=C/a)		円	58,501	55,436	56,826	58,866		

(4)事業の評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの	
事業の評価	事業の達成状況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○語学相談員による巡回指導 ○日本語初期教室(にじっこ教室) ○外国人児童生徒教育推進 日本語指導を必要とする児童生徒数は、新型コロナウイルス感染症蔓延により減少した。令和3年度末より、徐々に入国者が増加してきた。今後の推移に注意する。	
	今後の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語指導が必要な子どもの学習支援協働事業 進学希望者、将来自立した市民となるための補助的支援の必要性から事業維持する。	
	事務事業評価による額	千円	節